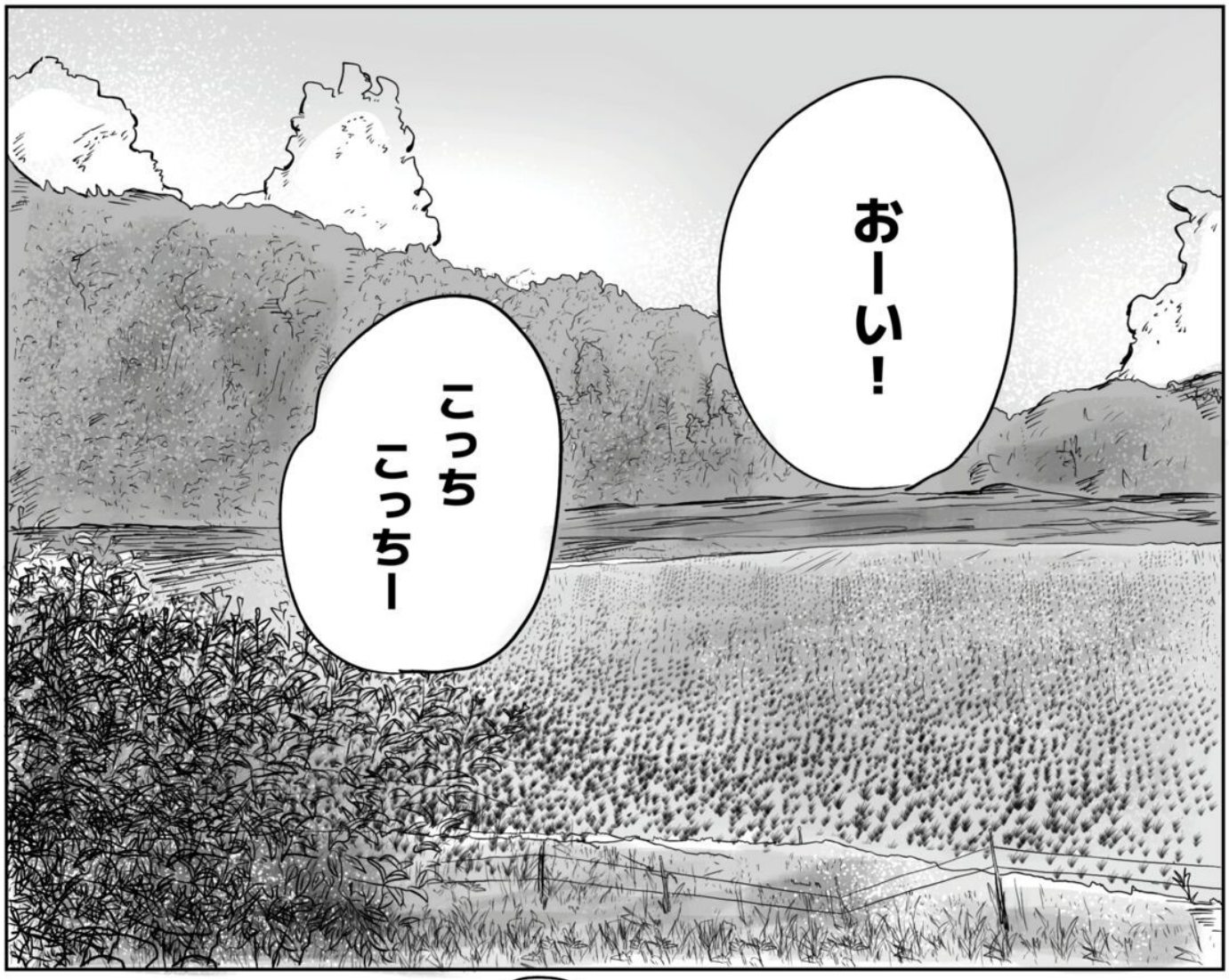
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

読んで下さる皆様へ

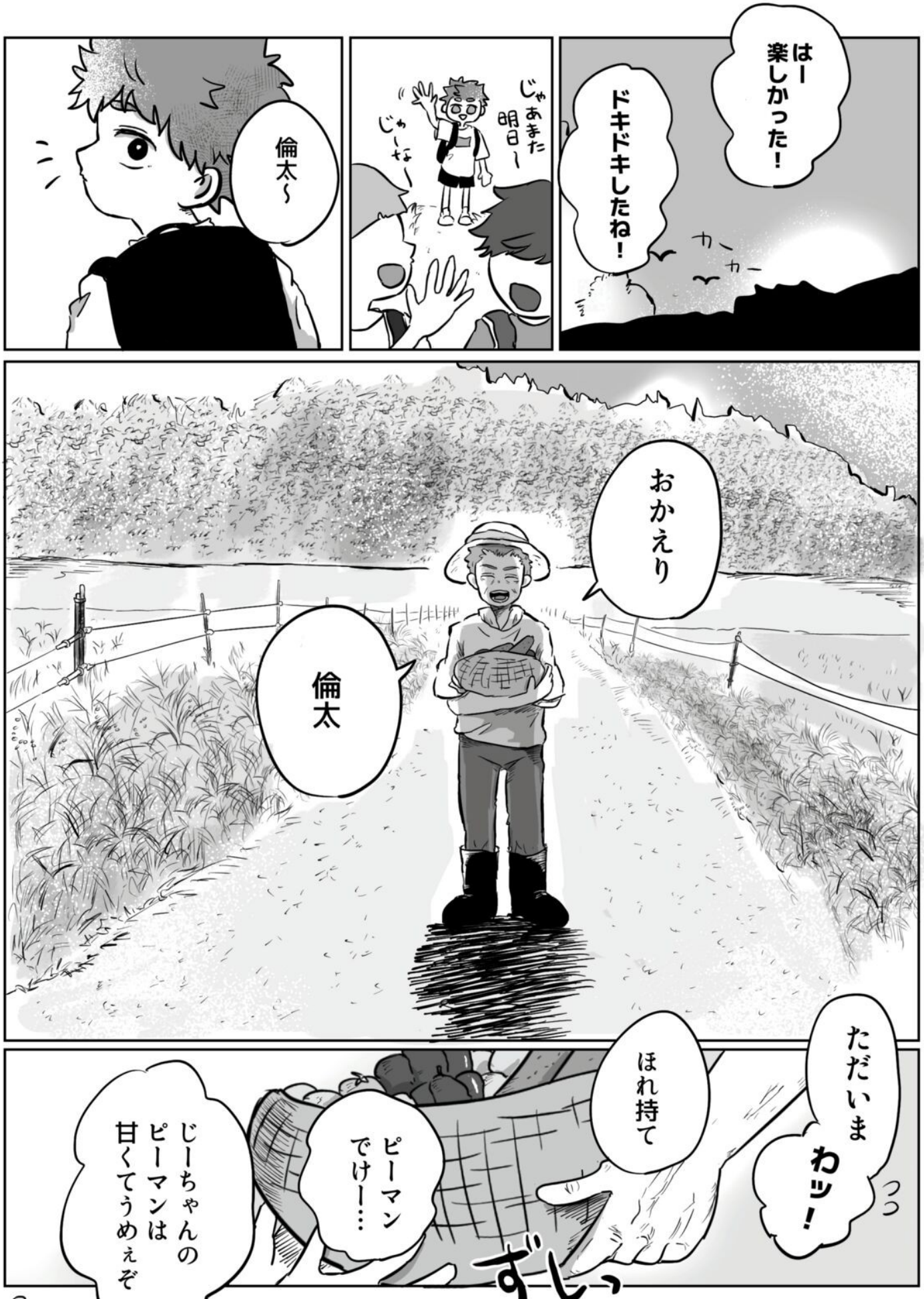
この物語は史実を元にした
フィクションです。
実在の人物・団体・事件とは
一切関係がありません。


おーい！
こっち
こっちー

ここって爺ちゃんらが
子どもの頃から
あるらしいよ
うわーすげーレベルの
廃墟じゃんかー！
すげーレベルって
なんだよッ

でもホントに
入んの？
当然！
ザッ
倫太（りんた）おまえ
ビビってんだろ～
ごくっ…
ザッ

ンなわけ
ないだろ！
じゃー
行きますかー
だな！
わ…
ボロボロ
ボロ…
こっち行って
みようぜ！
ギシ
ギシッ
ちょっと待って
りくー！
うっわここ
床腐ってる！
ぎゃはは！
気をつけろー！
はーはは
…

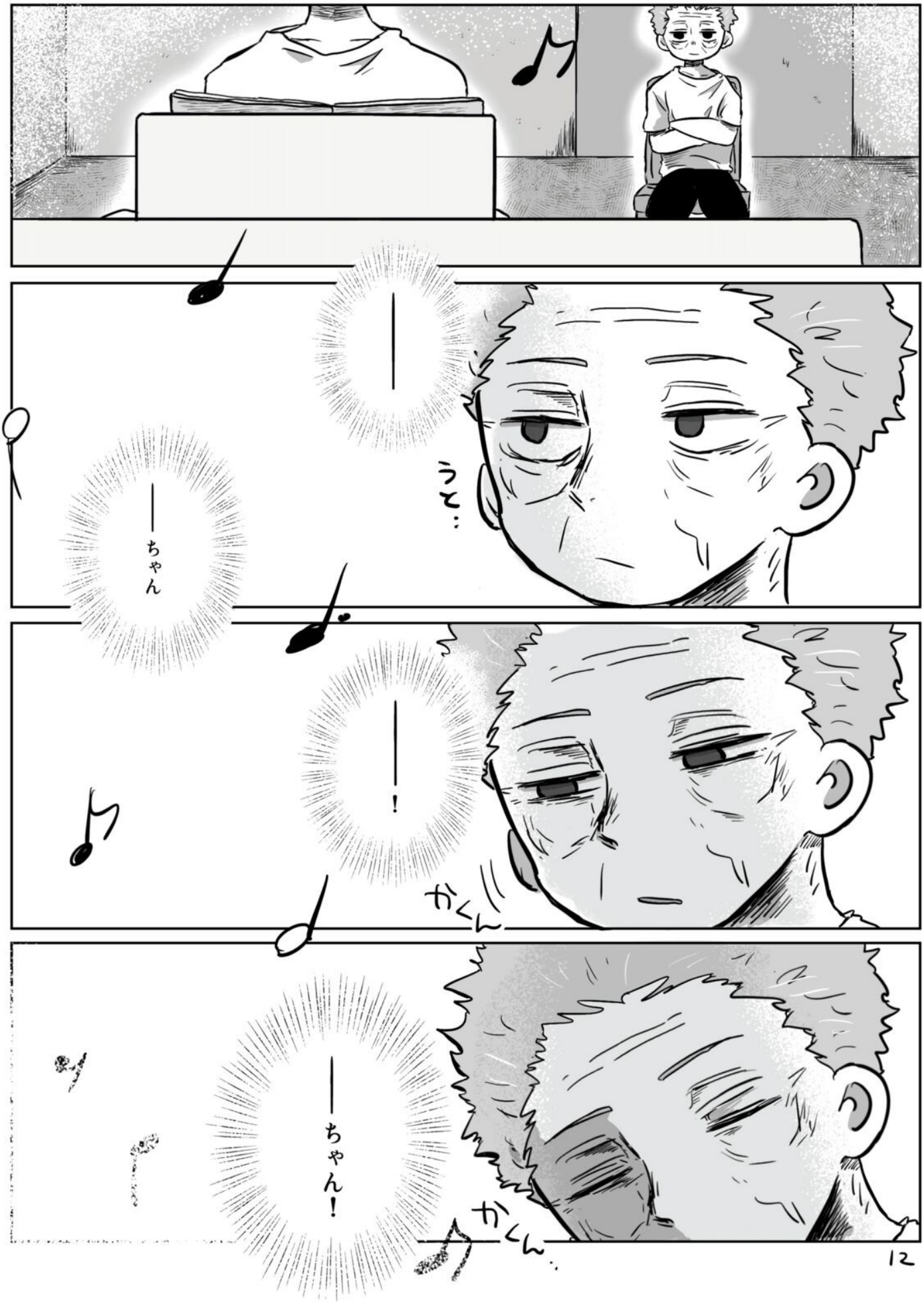

はー
楽しかった！
ドキドキしたね！
カーカー
じゃあまた明日ー
じゃーなー
倫太〜
おかえり
倫太
ただいま
わッ！
ほれ持て
ピーマン
でけー…
じーちゃんの
ピーマンは
甘くてうめぇぞ
ずしっ

今晩食おうな！
えー
ピーマンやだぁ…
そんなこと言ってたら
デカくならんぞ！
じーちゃんはとても
優しくて
ちょっと
厳しくて
おれのこと
大好きだから
りんたのために
作ったんだぞ～
にかっ
おれも
大好きだ
ガチャッ
ただいまー

ちょっと
倫太！
アンタこんな時間まで
何してたの！
りく達と
ちょっとねー
アンタ
発表会前って
分かってんの!?
ガチャ
まあまあユキさん
そんな言ってやらんでも…
お義父さんは
甘すぎます！
夕飯前に
ピアノの練習
しなさいよ！
ガコ
ええー
お爺ちゃんに
聴いてもらいなさい！
へーへー
ちょっとその飲み方
やめてって言ってるでしょ！
へあーーい
もーーーー！

ユキさん
機嫌悪かったのぉ
バタン。
こーねんきだよ
コーネンキ
難しい言葉
知っとるのぉ…
さて
弾くかー
じゃあワシは
うとうとするかな
聴いといてよ！
ははは
倫太のピアノは
優しいからな
良い気持ちに
なるんじゃよ
！
あ
そ

ね、寝ずに聴いといてよッ！
はいはい


うと…
——ちゃん
——！
かくん
——ちゃん！
かくん…

しゅーちゃん！
ビクーッ!!

すまん美鷹(みたか)…
心地よくてつい…
もー
くるっ
聴かせろって
言うから
弾いたのに！

ちゃんと聴いててよ！
しゅーちゃん！
じょ、上手だった！
かさっ
こっちのミタカの曲もおれ好き
だ…
バッ!!

誰もいない
音楽室で

ごにょ…

こっちは
恥ずかしいから…

ごにょ…

ミタカのピアノを
聴くのが
日課だった

ミタカはおれの二つ下
十三歳で幼馴染で

ごにょ…

自分で作った曲
だし…その…

ぎゅっ

男だけど犬みたいに
ふわふわで可愛くて

でも
ありがとう

おれの

この曲好きって
言ってもらえて
うれしい！

初恋だった

またねー
ばいばーい
カーン
カーン
じゃーな
周作！
おー
昨日隣の村に
白んぼ来たって
え…怖いね
最近多いね
美鷹
ごくん
ん？
明日
花火大会だろ？
一緒に行かね？

い…！
行きたい！
でもしゅうちゃん
友達多いのに…
おれなんかと
行っていいの？
ぱぁぁぁ!!
ミタカが
いーんだよ
キッパリ
美鷹
しゅーちゃん
ごき
美鷹…
美鷹が
大好きだった
あ
ありがとう…
美鷹と
ずっと一緒に
いたかった

がや
がや
しゅーちゃんっ！
がや
がや
たっ
たっ
遅くなって
ごめんねぇ！
はっ
はっ
浴衣着るの
難しくって…
たっ
ミタカ…！
いつも可愛いけど
しゅーちゃん？
はー
はー
更に
可愛い…
ミタカ
好きッ！
行こっか
うん！

がや
がや
がや
がや
ミタカー
ここ枝
いっぱいだから
気をつけろよ
うんっ
カサ
パキ
ガサ
ほら特等席！
すげーだろ！
ザーン
ヒュー
ぼそっ
しゅうちゃん……
ドキ
？

誘ってくれて
ありがとうね
その
すごい
ヒュー…
あ、の
嬉しいから…
美鷹

ドォン
ドォン
ヒュー…
ヒュー
ドン
ヒュー!
しゅ
しゅうちゃ、
ヒュー…
ドォーン

ドッキン
ドキーン
花火きれいだったな
そうだね
じゃあねっ！
あせ
あせ
あせ
！
美鷹ッ！
びくっ
ッ！

うん！

カーン
カーン
ミタカいる？
ガラっ
今日
休んでるよー
吉作くんだー
そっか
休み…？
どうしたんだ？
昨日は元気
だったのに
とぼ
とぼ
家寄って
みるか…
こっち来るよ…
うわ、あれ
ひそ
白んぼだ
ぴく
ひそ
パキ
え、また？
怖…
ひそ

ひそ
白んぼ
ひそ
ひそ
どこだろ
嫌だなあ
ひそ
消毒
ひそ
ミタカいる？
今日休んでるよ
ひそ
ひそ

ひそ
ひそ
ひそ
ひそ
はっ
はっ
ひそ
は
はっ
ひそ
おばさん！
ミタカ、
は…
ガたっ！
ヒュッ…

怖いね
ひそ
森野さんとこかあ
あれだったってさ
息子さんだってさ
あれか
消毒で真っ白だ
あれが出た
こないだ話しちゃった
森野さんちの野菜食べちゃったよ…
遂にご近所で
大丈夫なの？それ
あれ
うつってたらどうしよう
気持ち悪い
あれ怖いね
森野
立入禁止

！
おばさん！
ミタカは!?
布団にね
血がついてたの
？
美鷹ね
足いっぱい怪我してて
全然痛くないし
いつ怪我したか
分からないって…
怖くなって
お医者様に
診てもらったの
そしたら
あれですね
お母さんって
かた
ここ枝
いっぱいだから
気をつけろよ
うんっ
カサ

お医者様
すぐ電話かけてて
ほら…見つかったら
すぐに報告しなきゃ
いけない決まりじゃない…？
それでミタカそのまま
船に乗せられて…
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
誘ってくれて
ありがとうね

ぜー…
ぜー…
おれたちには
関係のないことだ
そう思っていた

こうも
あっさりと

終わりを
迎えたのだった

※頭が大きく横長の体型をした鳥。
ヒキガエルのようで醜い鳥として知られる。

びくっ
ついてきなさい
こっ…
お前の部屋に案内する
ガキだ
ガキだ
ガキだ
ガキだ
……
着いたぞ
他のとこは六人部屋だがここは四人部屋だ
運がいいな夜鷹は
山本武一
かた
ぎゅ…

細かいことは
中の奴らに聞け
！
ギッ
ギッ
…
……ッ！
お、
そ、
お邪魔します
スー…
あ、あの
ひょこ
こんにちは…
今日からここで
お世話になります
み…ヨタカです
こんにちはッ
ぱぁっ
話は
聞いてるよ！

ヨタカ
かわいいね
な、なに
べた
肌まだ
きれいだ〜
皮疹ここだけ?
いいなあ
とさっ
ほら
ヨタカ!
いっ
いッ
おれたち
勉強も労働もさせられて
もーヘトヘトなんだよね
ぴと
だからほら!
舐めて!
そそ、
そんなこと…!
するわけな…
ぺち
ぺち
ぴた
ぴた

大丈夫！
んっ!!
じゃぽ
みんな
やってるよ！
しっかり
喉の奥使うんだよ
ほら
ぎゅッぎゅッ！
じゃぽ
んーっ
じゃぽっ
じゃぽ
わあこっちも
まだ肌きれい
羨ましいなあ…
!?
ビクッ
ずるる

んー
きつい
ぴく!!
めり
めり
めり
めり
めり
!!!
血ぃ出てんじゃん
かわいそう!
?
?
めり
めりめり
がた
がた
ふご
んぐ
大丈夫
きっつ…
ぐぽ
ん
かた
かた
かた
ハコ
ハコ
ハコ
大丈夫だよ
ヨタカ
大丈、ぶ
は
は
だから…
ぐぽ
ぐぽ
ぐぽ
ぐぽ

んんうー！
どぴゅ。
おれたちがついてるから心配ないぞ…ッ！
ばっ
痛ぁっ！
いっ
どさっ
がしっ
ここでの生活色々教えてやるからなッ！
ぬいて
ぬいてっ
ぬいてよぉ
お
お〜
安心していいぜ！

ひょこ
大丈夫だよ！
ヨタカっ！
おれ達どうせそのうち
骨も肉も腐って落ちて
何も出来なくなるから
今のうちにしっかり
遊んでおかなきゃ！
大丈夫！
すぐ慣れるから
なんだここは

なんだここは
なんだここは
ドロ

あー気持ちぃ！
ズボッ
ズボッ
あ
あ
ヨタカお前
最高…！

おれはもう二度と
あー
ここから
出られないのか
ズボッ
びくっ
あっ
ズボ

ジャリ
ザッ
ジャリ!

ジャリ
ジャリ

美鷹（ミタカ）…！

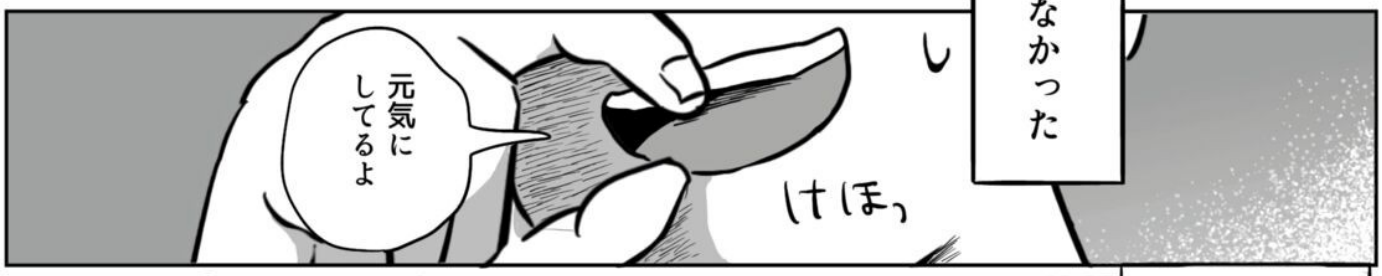
しゅうちゃんは
ダッ!!
とても温かかった
しゅうちゃんは
ごめん遅くなって
親がなかなか
行かせてくれなくて
ぎゅっ
消毒液の臭いが
しなかった

気が付けば
しゅうちゃん
おれがここに来てから
一ヶ月の時が流れていた
しゅうちゃん！
しゅうちゃん！
しゅうちゃん！
しゅうちゃん！
しゅうちゃん！

ザザーン…
静かだな
ぎゅ…
しゅうちゃん
おれ…
もう一生ここで
暮らしていかなきゃ
いけないのかな
もう家に
帰れないのかな

そんなことない！
ガバッ！
ここでちゃんと治療して良くなったらまた
みんな言ってた
！
効く薬なんて無いからこの病気は一生治んない…どんどん骨が溶けていってそのうち目も見えなくなる…
死んでも骨に菌が残るから故郷のお墓にも入れない
そ、そんなこと…
ねえお母さんは？どうして来てくれないの？

言えなかった



身内からあれが出たと
村中の人達から
冷たい目で見られ

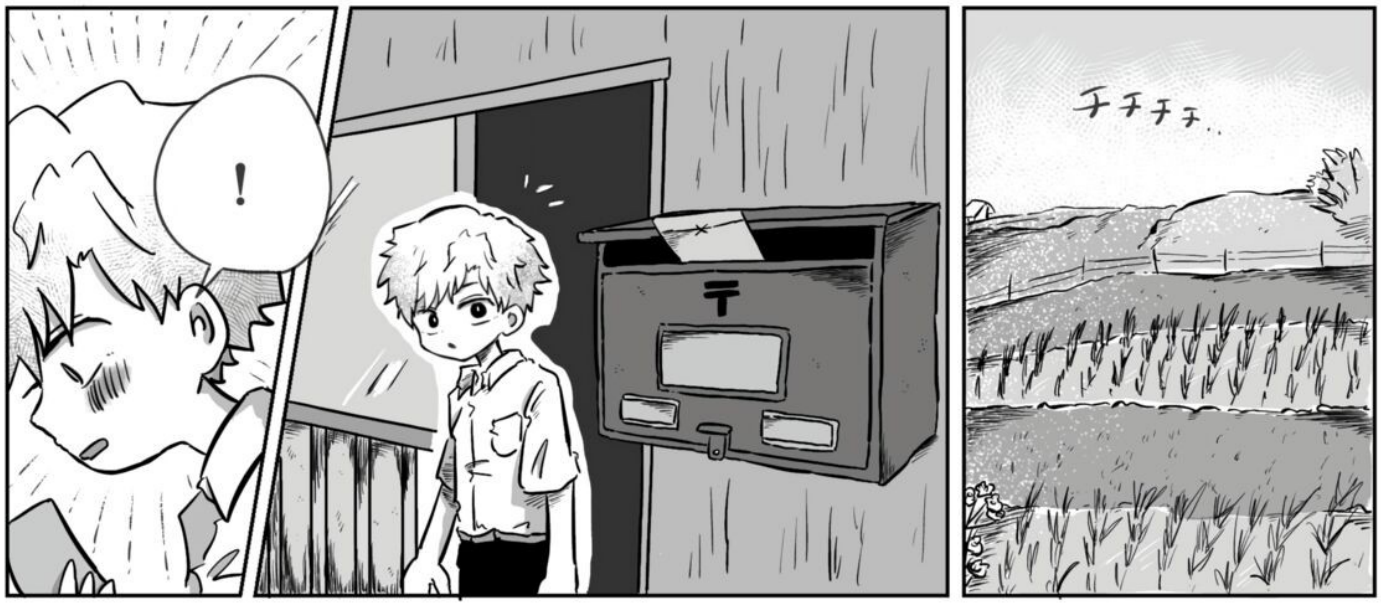
それに耐えきれず
美鷹を捨て置き
夜逃げしてしまったなんて

言えるはずが
なかった

ミタカ
ごめん…
ぎゅっ
親がうるさくてさあ…
なかなか来れないかも
しれないんだけど
でも…！
おれは
しゅーちゃん！
手紙！
書くね！
しゅーちゃんも！
…ッ！
返事書いてねぇ！

わかった…
わかったよ
待ってるからな！
手紙！
またな
ミタカ！
また来るから！
ボッボー…
ザザーン…
…

ザザーン…
ザザーン…
いいなあ
ザザーン…


！
〒
チチチ…

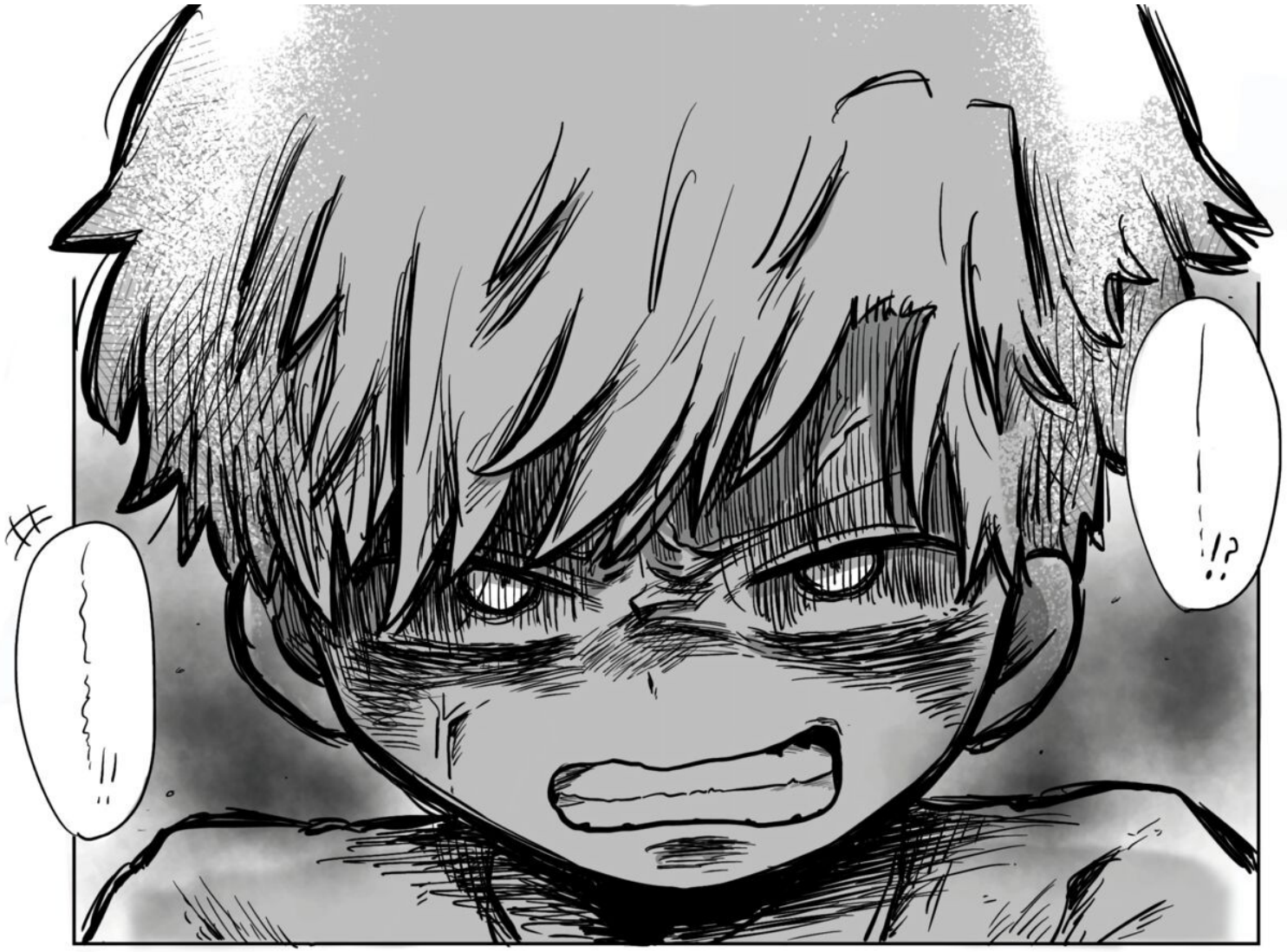
ミタカからだっ！
国立療養所
森野
しゅうちゃんへ
カサッ
学校はどうですか？
おれがいなくても
頑張っていますか？
おれは毎日
注射打ってもらったり
薬を塗ってもらったり
しています
注射嫌いだったけど
もう慣れました
早くピアノが
弾きたいです
毎日弾いてないと
すぐ弾けなくなるからです
ﾁｸ…

またいつでも
会いに来てください
待っています
森野美鷹
ドタ
ドタ
母ちゃんッ
便箋どこー!?
カリ
みたか、へ
手紙ありがとう
嬉しいです
今日学校でヨウジとタケシが
ケンカして大変でした
タケシの転びっぷりが
面白かったので
ミタカにも見せて
あげたかったな

美鷹は今日
何をして
過ごしましたか？
ご飯はちゃんと
食べていますか？
嫌いなピーマンも
しっかり食べるんだぞ
早く元気に
なってください
ばこ！
ばこ！
ばこ！

美鷹に会える日が
待ち遠しいです
大好きです
美鷹

やった！
明日また
ミタカのとこ
行ける！
はっ
何話そう？
ミタカ元気かな!?
はっ
たっ
たっ
たっ
おい周作
？
ボッ
お前あの島行ったらしいな
なに考えてんだ？
にや
にや
頭おかしいんじゃねぇの？
どーせミタカも
溶けて腐ってくのに
いやそんなこと
もう手とか足とか
無いんだろ？
いや、だから
うわー
気持ち悪ッ
はよ死ねば
良いのに～！


!?

しゅーちゃん…

どしたのそれ

ムスッ!
べつに

しゅうちゃん
ハッ
あ、ごめ
…
びくっ
エッ!?
も
そ
ミタカ!?
そんなとこで
ど、どうした?
ちょーん
ななな、
ぎゃっ
何ッ
ぱちぱち
…?
トン
トン

トン
トン
トン
トン
トン
トン
トン
ふにっ
ふにっ
ふにっ
ふにっ
ふにっ

その音は
波の音より
心地の良い
おれの大好きな
美鷹の曲
美鷹の
音だった

ごめんね
しゅうちゃん
こんなことしか
出来なくて…
ふに…

すく…
いつかまた
絶対ピアノ
弾いたげるから…
わっ
ぐいっ!
ぎゅっ
何で病気になんか
なっちゃったんだよ…
何でおれじゃなくて
ミタカなんだよ…!
何で隣に!
いてくんねーんだよ!!
ぽろ
ぽろ

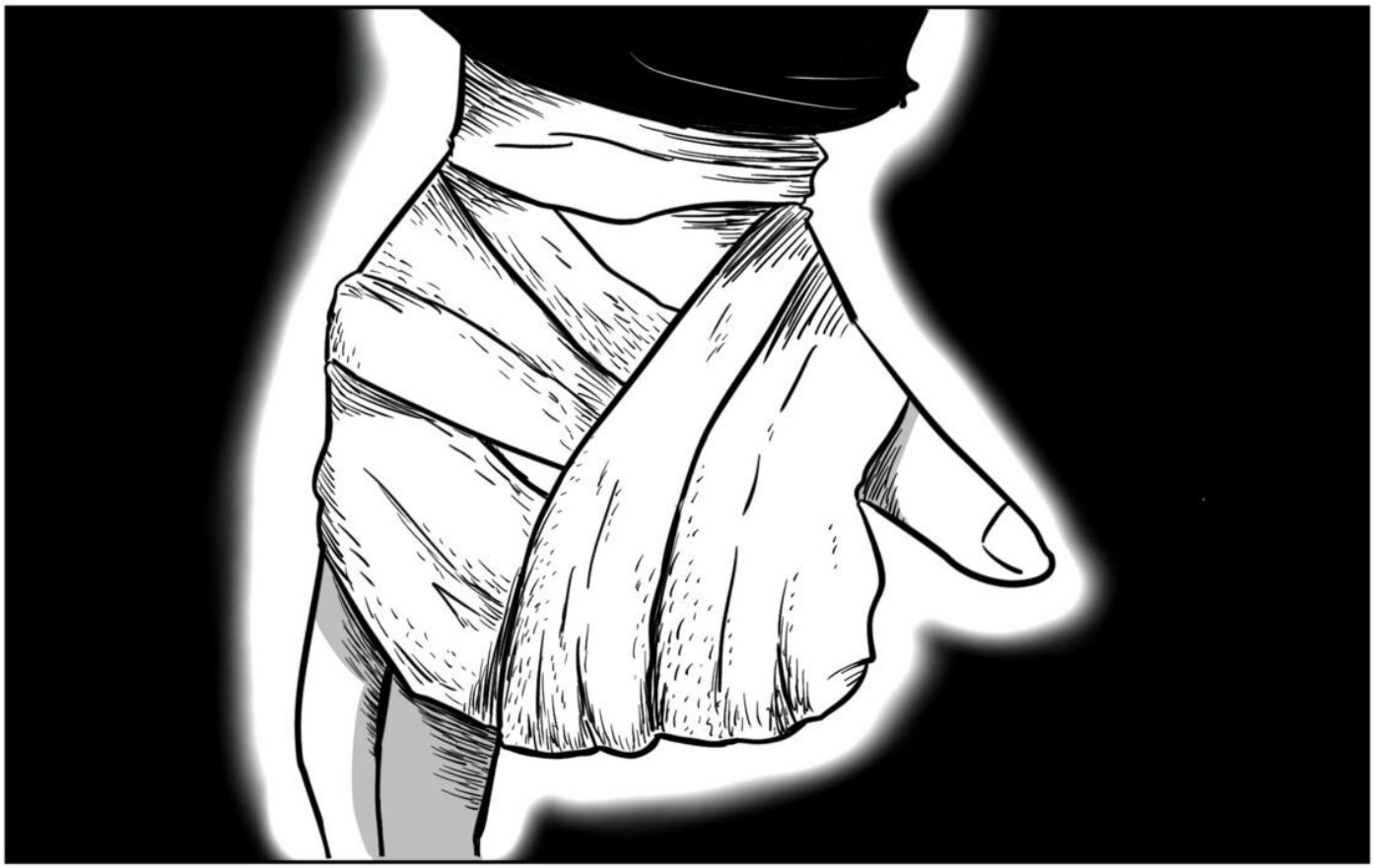
ごめんね…
しゅうちゃん
すっ…
その手はとても
冷たかった
一人にして
ごめんね
寂しいよね
ごめん
ごめん
しゅうちゃん
ごめん
ぽろ
ぽろ
涙の止め方が
分からなかった
美鷹はただただ
謝り続けた
波の音が
耳障りな夕暮れ時だった

月日は
流れゆく
ガッ…
美鷹から
手紙が来なくなって
そろそろ
三か月になる
こっちから何度か
送ってみたが
返事はなかった
島にも行ったが
面会拒否で会わせて
もらえなかった
森野美鷹

……
バタン
者以外立入
だっ
美鷹

美鷹
美鷹
!!
びくっ
しゅ。
しゅうちゃん？

ミタカ！
待てよ！
おれ変なこと
言ったんなら
謝るから!!
だから…！
ミタカ！
み…



…
てがみ
バッ

書こうとした!!
何度も
何度も!!

でも鉛筆
上手に持てなくなって
このままじゃ
腐り落ちるから
先に切っとこうって
お医者様が…
こんな手！
こんな
気持ち悪い手!!
見られたくなかった!!
しゅうちゃんに
知られたく
なかった!!!

ずっと
ずっと
考えないように
していた
はっ
はっ
ぽろ
ぽろ
がばっ
美鷹やこの島に
いる人達の病が
どれだけ辛く
悲しいものなのか
美鷹がどんな思いで
ここにいるのか

どんな思いで海の向こうに
微かに見える故郷を
眺めていたのか
どんな思いで
おれと会っていたのか
怖くてずっと
考えないように
していた
助けて…
もう嫌だ
助けて
しゅうちゃん

おーい
ヨタカくん
とん
とん
トキさん
ヨタカ最近
引きこもってて
全然出てこないよ
そっか…
でも篭りっぱなしは
身体に悪いよ！
おーい！
開けるよ！
トキさん…
スー…
ッ
…

ヨタカ君
いつまで寝てんの
出てきなさい
ゆっさ
ゆっさ

そぴ…
ははは
すごい顔
…

トキさんは
みんなで作業とかする時に
色々教えてくれる先輩で
ほら布団
一緒に
片付けよ
こんなおれを
気にかけてくれる
優しいお兄ちゃんだ

包帯も
変えなきゃ…
傷治んないよ
すっ…
だめだよ
そんなこと
言ったら
別にいい
いい
こんな手じゃ
何も出来ないから
もういい
このまま
全部溶けて腐って
はやく死にたい
ヨタカ君…

わ！
なにッ！
包帯取って
キレイにしなきゃ！
オレが
洗ってあげるよ
はあ!?!?
ぐいっ
よっこいせ
風呂行こ！
風呂！
ええ!?

風呂はいいよ
あったかいし
気持ちいいし
このままお湯に
溶けてしまいたいって
思うよねーははは
ね
ヨタカ君
死にたいなんて
簡単に言っちゃ
駄目なんだよ
悲しむ人が一人でも
いてくれるのなら
その人のためにも
生きてなくちゃ
いけない

それが
辛くても
苦しくても

オレ達ならきっと
乗り越えられる

…って
思うんだよね！

手いっぱい
洗っとこうね

……

わかんないよ…

トキさんは
とても大人な人で
優しくて温かくて

まるでお風呂みたいな、
そんな人だった

トキさんって
家族いるの？
ホコ
ホコ
いるよ
妻と五歳になる
息子がね
それがね、明後日初めて
面会に来てくれるらしくって
もう嬉しくて嬉しくて
堪らないんだ！
…
ご、ごめん
オレの話ばっかり…
はっ！
いいよ

トキさんが
嬉しそうだと
おれも嬉しい
！
そっか…
しゅうちゃん
何でトキさんみたいに
優しい人が
こんな醜い病気になって
家族と離れ離れに
なってしまうのか
神様は
とても意地悪です
どうかこの人は
幸せであって欲しい
おれは心から強く
願ったんだ

…タカ君
ヨタカ君
ヨタカ君
トキさんの声
スーッ…
どうしたの？
こんな夜に…

ごめんね
こんな夜に
ちょっと
散歩しようか
ごめんね
……
ごめんね
面会どうだったの？
今日だったよね
ザザーン…

う
ガン
ガン
！
ぅぅ
トキさ…
――くれって…
死んでくれって
それを患ってる
オレが生きてると
皆嫌がるから
村で生活
できないって
私たちを
思うなら
一日も早く
死んでくれって
ザザーン

ヨタカ君
ぐっ
ドサ!
オレ達何か悪いことしたのかなあ
何でオレ達なんだろうね
ぽたっ
何でオレ達ってこんなにさあ
ぽろ
惨めなんだろうね
ぽろ

ビク!
んッ!
べろっ
んっ
んむ
ちゃ
ちゃく
ふき…
ちゃ
ちゃく
う…
ぢゃく
ぢゅっ
ぢゃ
ぢゃ
びく
ん
ふゃ
ぢゃっ
しょ
ちゃぷ
はっ
んあ
ぴぃ

トキさ、
あッ
びくっ
ぺちゃ
ぴちゃ
んあ
うあ
はっ
あっ
ビク
トキ、さ
ビク
ぴく
ぐちゃ
ころ
「滝」って呼んでよ
ぎゅっ
オレの
本当の名前…
びくっ
やっ
あんっ

ビク!
あ
あっ
ぬぽ
ぬぽ
ぬぽ
たきさんっ
や
たきさ、
あ
ごめんね
はー
ぴと
ふー
挿れるよ
しゅうちゃん
びく
びく
あぁっ
びく

何でおれたち
なんだろう
ゃっさ
あ
ゃっさ
おっ
たきさっ
バコ
バコッ
どぢゃっ
どぢゃっ
前世で何か
ひどいこと
しちゃったのかな?
しぁぁ
ちゃ
お
どぢゃっ
もしかして
すっごい
極悪人だったとか
びくっ
きゃっ♡
ちゃ
ん
ふ
びくっ
バコッ
バコッ

それでおれ達きっと
前世の罪を償ってるんだ
だからこんなに
苦しいんだ
あっ
だめ
なかだめぇ
ぴこぴこ!!
どくん
ごめんね
ヨタカ君…
ねえ
しゅうちゃん

こんな醜いおれでも好きでいてくれますか？
ずっとずっと忘れないでいてくれますか？
いいよ
もういいよ
もういいんだよ滝さん…
おい!!!誰か来てくれ!!!!

病から、差別から
解放された滝さんが

自由になれた
滝さんが

その時のおれには心底
羨ましく思えたんだ

この島は
とても美しい

自然に恵まれ

村では見られない
渡り鳥だって
元気に鳴いている

だから

美鷹

美鷹…

だから
この島は

ひ、久しぶり
来るの遅くなってその、ごめんな…
国立療養所
・・・・
おれたちは
もっとみんなに愛されても良いんじゃないかなあ

そうだよね
しゅうちゃん

もう来ないと思ってた
おれの手見てすごい怯えてたから気持ち悪くなったかなあって
そんなわけないだろッ!?
そんなわけ…!
…
そっか
ジャリ…
あ、おいミタカ…
ここにはさぁ

キレイなお花や
皆で育てた
豊かな畑も田んぼも
何でもあって
天国みたいな場所なのに
それなのに
ミタカ！
だっ
それなのに何で
地獄なんだろう

ここは？
ここはそういう部屋だから
誰も来ないよ

？
どういうこ
しゅーちゃん
ッ!!
気持ちいいことしよっか
しゅーちゃん
な!?なな
なんッ!?
ミタ、

む
ちゅ
み
美鷹…！
とたっ
ジー…
大丈夫
おれがぜーんぶ
教えてあげるから
ちろ…

あ
やめろ
ぐぽっ
ぢゅ
み…
はっ
は
みたか…
んくっ
どこでこんな、
んくっ
汚いから…
やめろよ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ
あッ
ぢゅ
じゅぽぽ…
ビクッ
うあ！

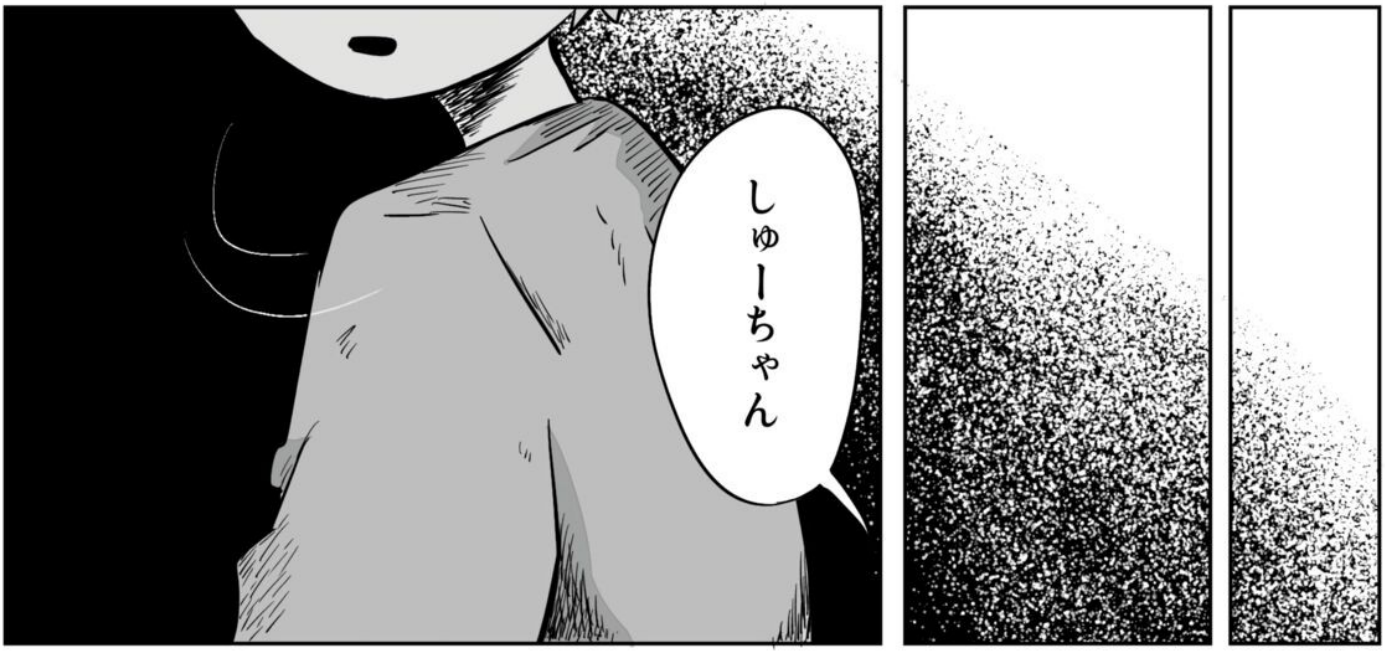
あ
ぐるっ
ミタカ
離し…ッ
あぁッ
ぴゅ!
びくん
ははは
いっぱい出たねぇ
最近さぁ
すとん
足先の感覚が
無くなってきてて
見たらちょっと
腐り始めてんだよね
しゅーちゃん
舐めていいよ
そのうち
切っちゃうから
くい、

ふ
ちろ
ううう
じじじ
う
はは…
しゅうちゃん
ぺちゃ
ぺちゃ
ひっどい顔
腐った肉の臭いするよね
切り落とす前に舐めれてよかったね
ぴちゃ
ぺう
ぴちゃ
ぺう
ぴちゃ
ぺう

ごめんね
しゅうちゃん
ヒック
ヒグ
ぬと
ヴぇぇ
もうピアノ
弾いてあげらんないから
とさ…
ヒグ
みたハ
ぜぇ
ぜぇ
ヒグ
み
おれ…こんな事しか
してあげられなくって
まだちょっと硬い…
のすぃぃぃ
えらいね
ぴク
あっ
はー
はー
しゅーちゃんの
小さいから
すぐ入るよ

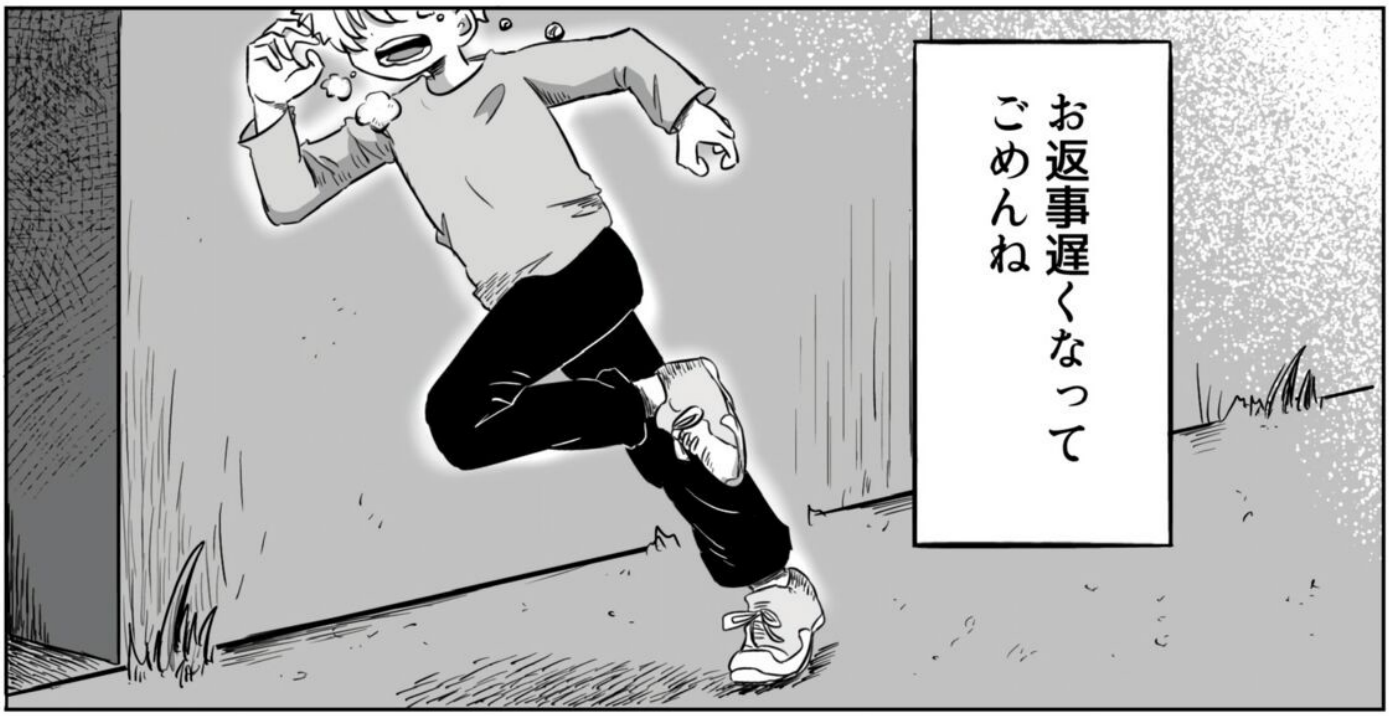
んぁぁ〜
びくっ
びくっ
ズプっ…！
びくっ
はっ
ほらね
はっ
どう…？
しゅ、ちゃ
ズチュ
ズチュ！
おっ
みたい
あ

あッ
あ
ぐちゅ
ぐちゅ
しゅちゃ、
はー…
ごめんね
ごめんね…
はー…
ごめんねぇ…
はー…


しゅーちゃん

もう来ないでね

しゅうちゃんへ
お元気ですか？


お返事遅くなって
ごめんね

読みにくい文字で
ごめんね

最近ふと
思うことがあります
ぽた…

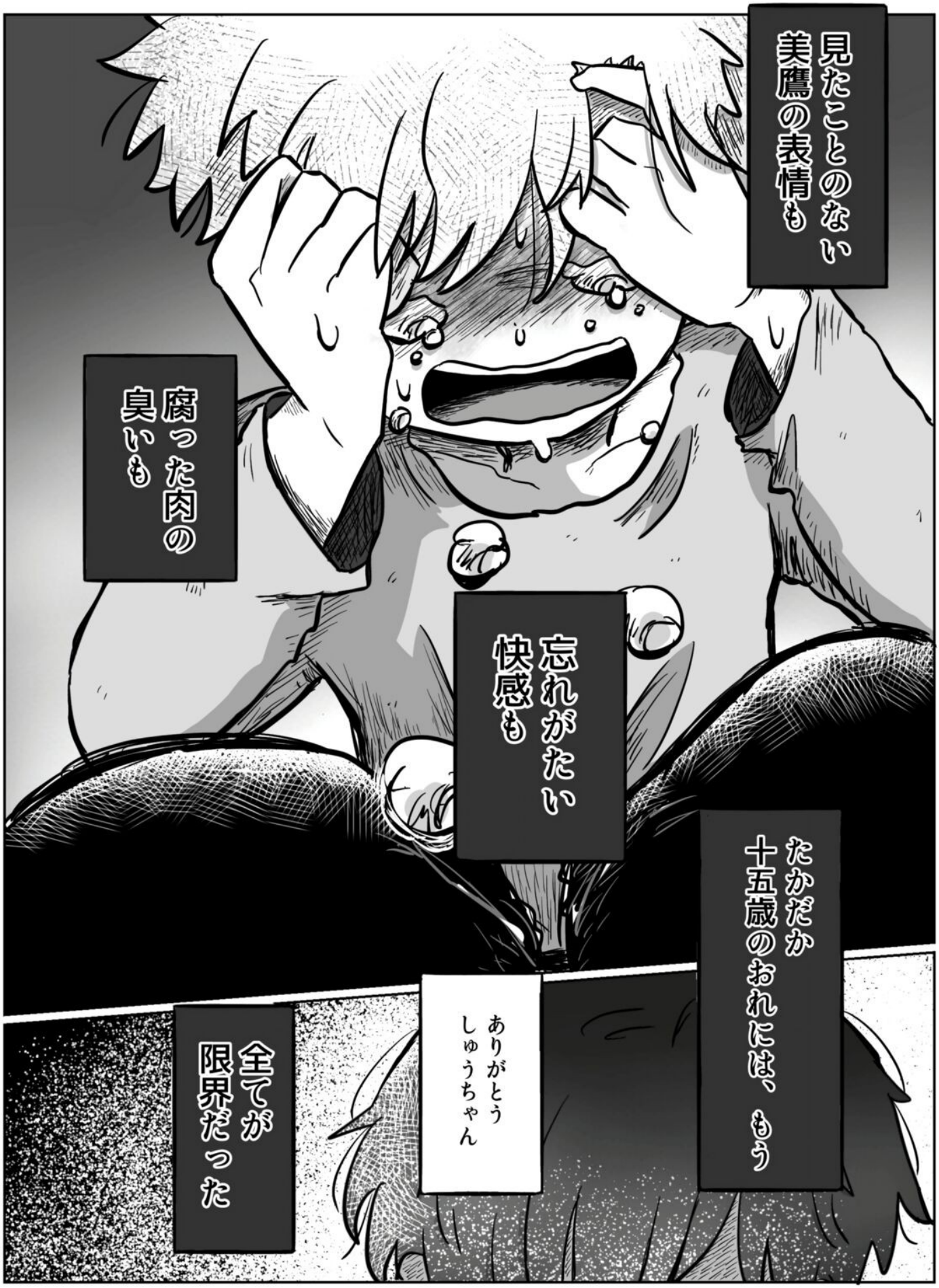
病気になったのが
しゅうちゃんじゃなくて
おれで良かった
どんどん
弱っていく
しゅうちゃんに
きっとおれは
耐えられない
だからおれよりも
強いしゅうちゃんが
そっちの役に
なったんだよ
ズサッ
しゅうちゃん、

おれはしゅうちゃんが
大好きだよ

心の底から
大切に思うよ

ずっと一緒に
いられたら
いいのになあ

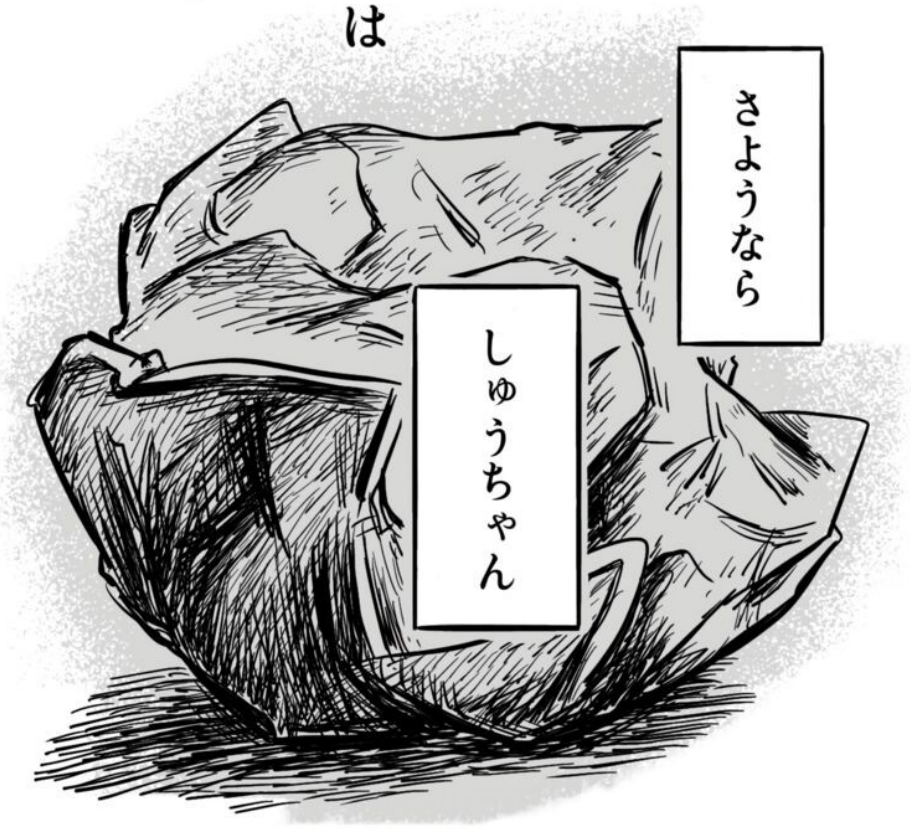
耐えられなかった


見たことのない
美鷹の表情も
腐った肉の
臭いも
忘れがたい
快感も
たかだか
十五歳のおれには、もう
ありがとう
しゅうちゃん
全てが
限界だった

みたか
じゃ
おれのこと好きになってくれて
本当にありがとう
みたかぁ
みたか、
ぼろ
ぼろ
ぼろ
みたかぁ

この日の夜、美鷹は
大量の農薬を飲んで命を絶った

その知らせがおれの耳に入ったのは
それから一ヶ月が経過しており
あの島に住む人々の人権の無さを
改めて思い知ったのだった



ごめんなさい

ごめんなさい
みたかぁ

窓の外では雪が
塵カスのように
静かに静かに舞い始めた頃だった

音楽室

美鷹
しゅーちゃんッ
おれ…
お前のピアノが
一番すきだよ

だから、さぁ
もっと…
もっと
聴かせて……
ぎゅっ…

ぼーー…
おい
この曲…！
わ！じーちゃん
起きたの!?
びく！
ガタ
いやあの
これは…

あせ
あせ
ちょっと
弾いてみたくって…
あ！でも
ちゃんと発表会の曲も
練習してるし!!
美鷹

この楽譜は？
ああこれは今日りく達と幽霊屋敷に行った時に…
ッて！
行ってない！行ってない！
どしたんかなぁこれあはははは
そうか…
じーちゃんはとても優しくてちょっと厳しくて
そんなじーちゃんの泣いてる顔
ワシの孫がこれを弾くか…
なんと残酷な
そうか…そうか…
見たのは今日が初めてだったんだ

チチチ
早起きしすぎた〜
ぽり
ぽり
ふぉぉ
！
じーちゃん？
こんな早くから
どこ行くの？

……
倫太…
ワシは倫太より早く死ぬ
もうすっかり年寄りじゃからのう
なぁ倫太
人生は一度しかないんじゃから
やり残したことの無いよう
ちゃんと生きんといかんよ

ずっと…
心残りじゃった
きっかけをくれたのは
倫太じゃよ
ありがとうな
倫太
じーちゃん！
おれのこと…
好きだよね？
…ッ

はっはっは
ぽむ
当然じゃ！
倫太はワシの
一番大事な
宝物じゃよ！
行ってらっしゃい
じーちゃんッ！

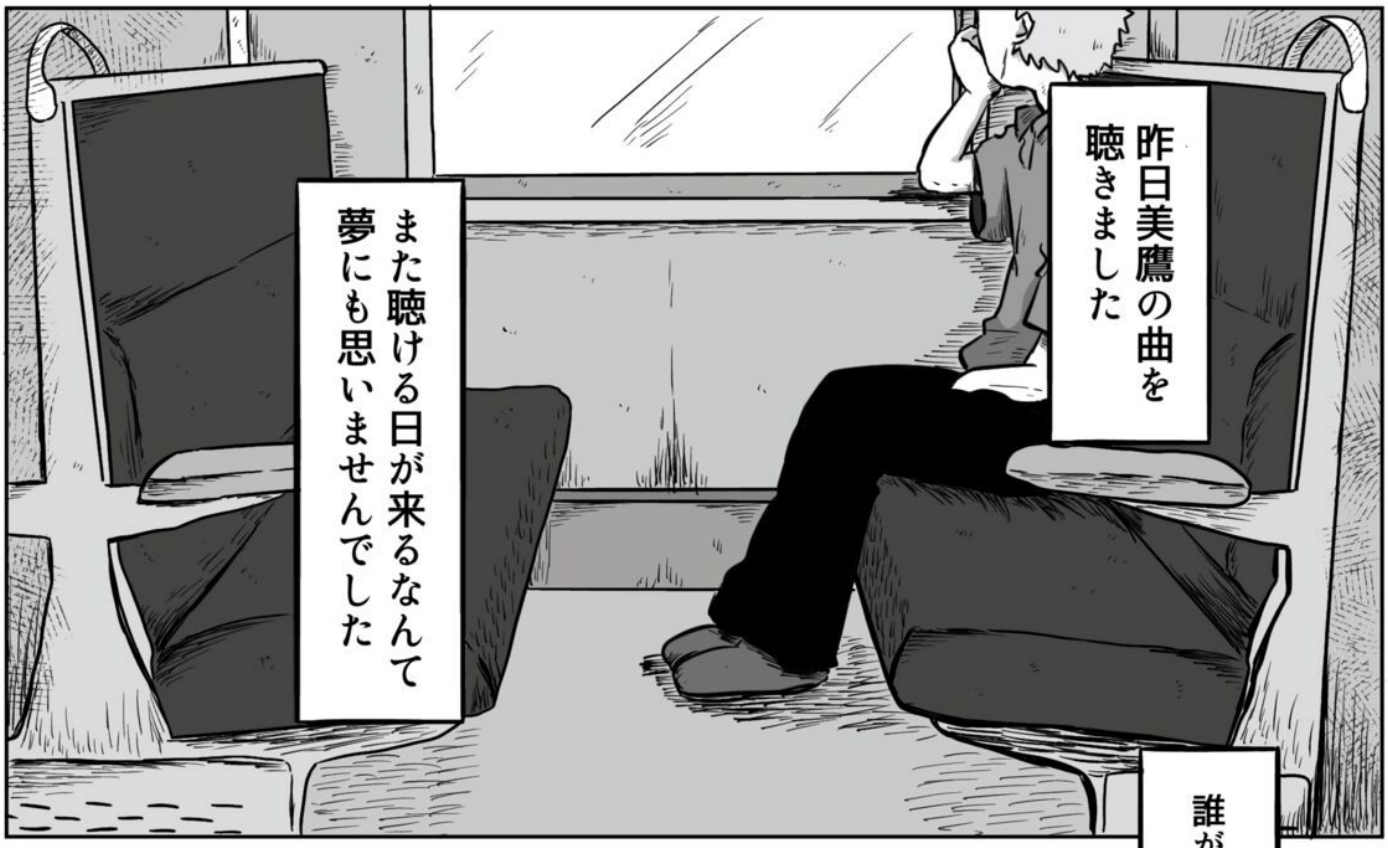
行ってきます

ごそ…
…
倫太…朝から偉いわねぇ
ん？
ガチャ！
ちょっと倫太その曲発表会の曲じゃな…

美鷹へ

今日はいつもより涼しいです

きっともうすぐ秋がやってくるのだと思います



昨日美鷹の曲を聴きました

また聴ける日が来るなんて夢にも思いませんでした

誰が弾いてたと思う？

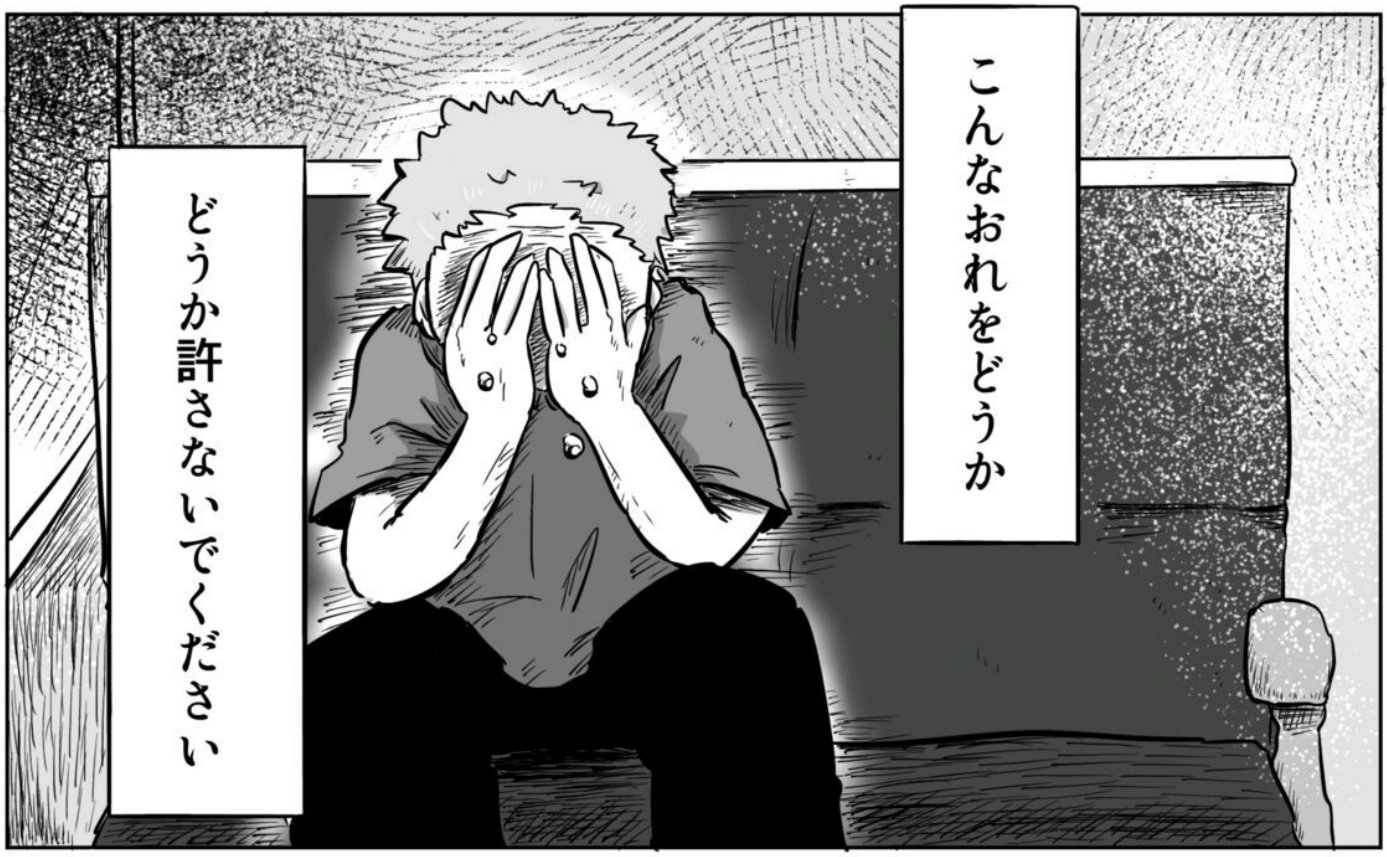
おれの孫が弾いてたんだ

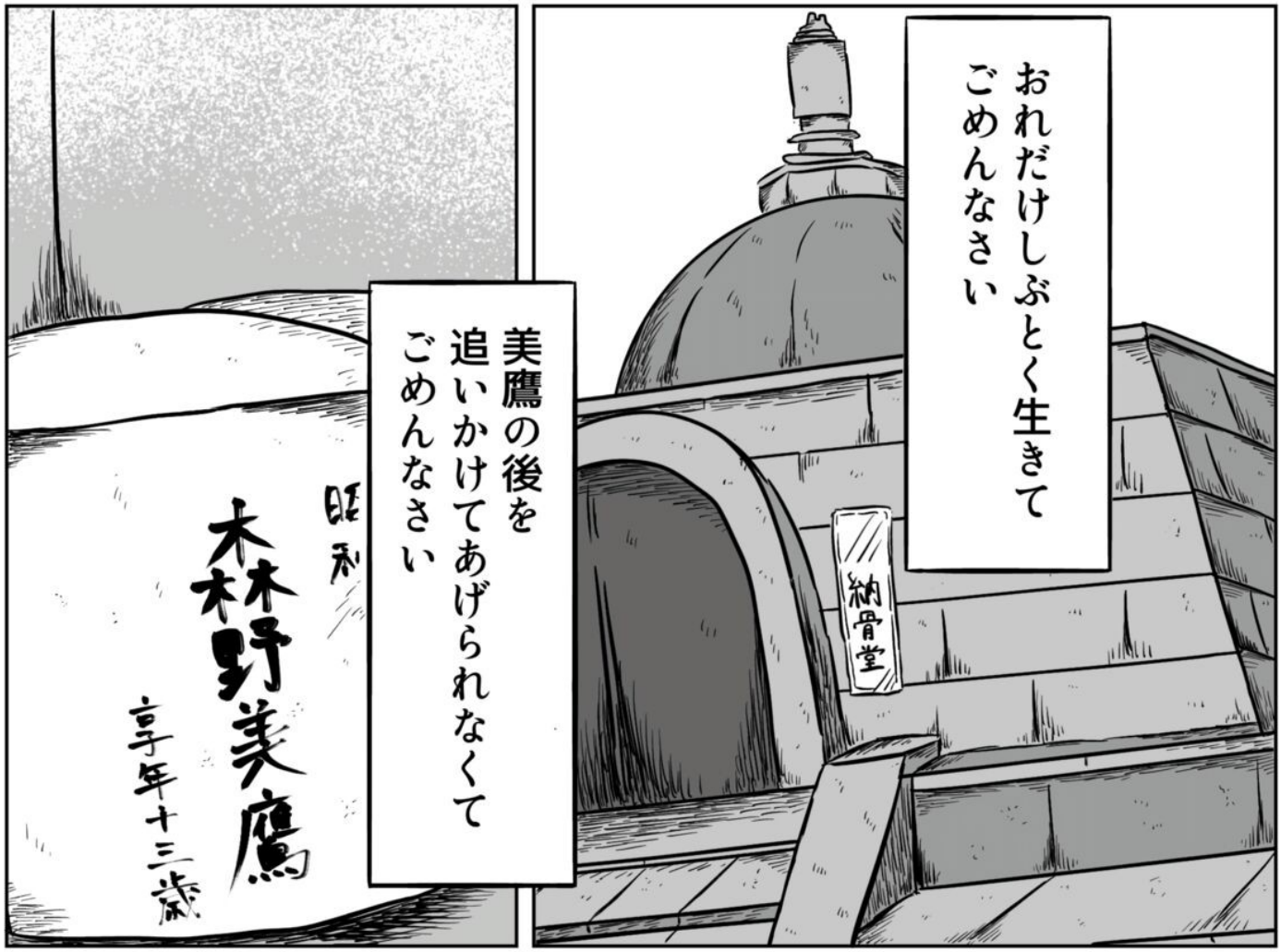
美鷹のことあんなに好きだったのにな

結婚して子ども作って孫まで…

美鷹…
美鷹との思い出にずっと蓋をし続けてごめんなさい
本当は大好きな美鷹が病に蝕まれていく様が
怖くて怖くて仕方なかった

・・・
あれは良い薬が出来て
治る病となり
辛く苦しかったであろう差別は
殆ど無くなりつつあります
美鷹にもそんな未来を
見せてあげたかった
どんな姿になっても
美鷹は美鷹
おれの大切な人には
変わりなかったのに…
どうしてあの時
そう言って抱きしめて
あげられなかったんだろう


こんなおれをどうか
どうか許さないでください


おれだけしぶとく生きて
ごめんなさい
納骨堂
美鷹の後を
追いかけてあげられなくて
ごめんなさい
昭和
木木野美鷹
享年十三歳

でもそんなこと言ってたら
きっとお前、怒るだろ？

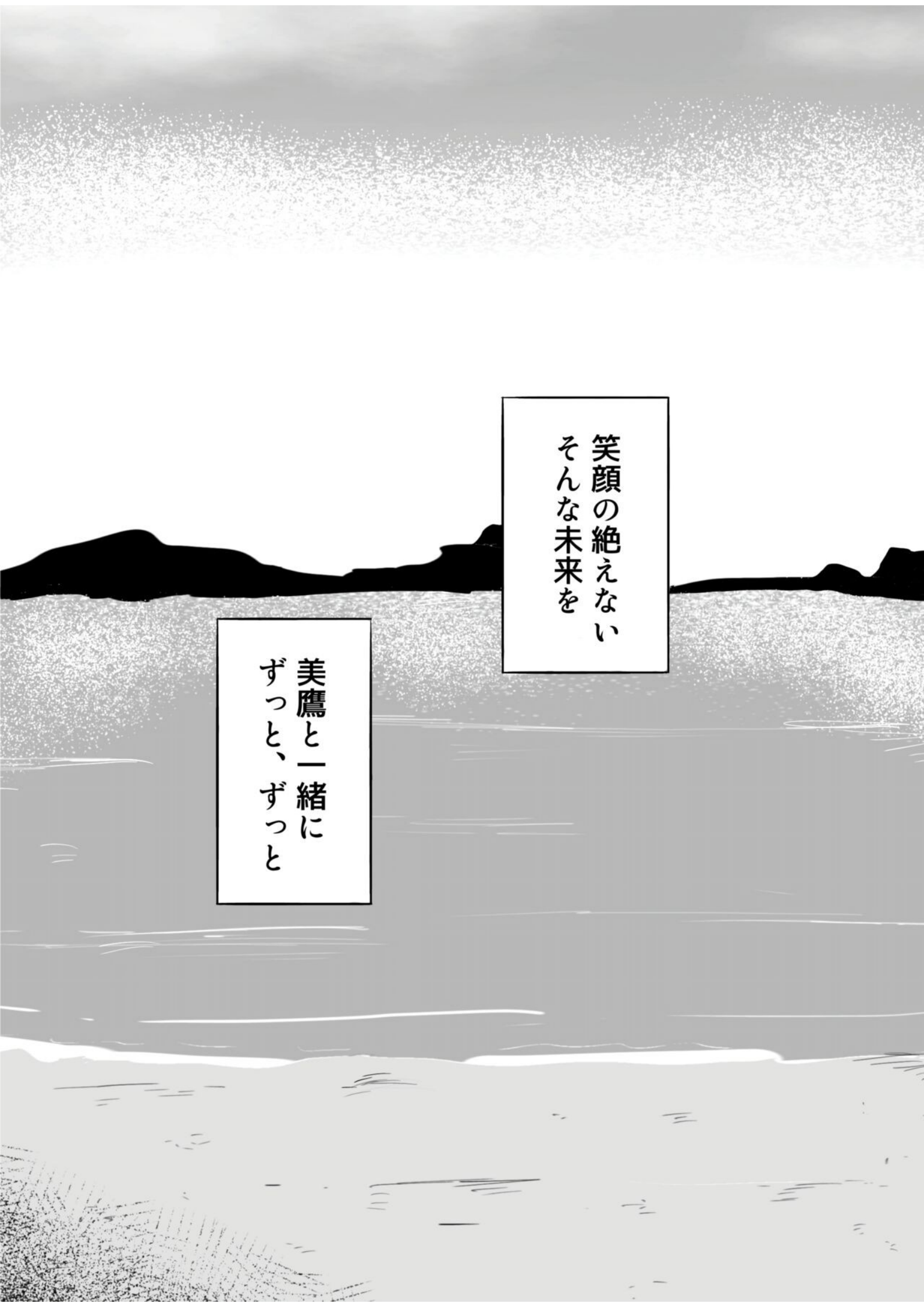
しゅうちゃんは
笑っていなよ、って
きっとそう言うだろ？

おれもそろそろ
そっちへ行きます

その時がきたら
どうか教えてください
あの日々の
全てを
美鷹の思いを
祈りを繋ぐ
美鷹の祈りを
倫太ー！
朝ご飯たべるよー
はーい

そしてどうか一緒に
祈らせてください

悲しみのない明日が
つながっていく未来を


笑顔の絶えない
そんな未来を
美鷹と一緒に
ずっと、ずっと